事業の名称	速旅で巡る信州アクティビティロード周遊プラン造成事業				
名称	一般社団法人 長野県観光機構				
プランの骨子		長野県には東西南北に整備され高速道路(中央自動車道や上信越自動車道)があり首都圏ならびに中京圏や関西圏、北陸方面からも多くの観光客が高速道路を活用して来訪されます。ただし、せっかくの来訪も目的地への往来に留まることが多く県内を周遊してもらう事に課題があります。またアクセスの良さから日帰りの可能な観光エリアも多く、宿泊を任う観光促進が課題となっております。 当機構としては長野県のもつ豊富な自然を生かしたアクティビティと高速道路の周遊プランを融合させた観光商品の造成とそのデジタル化(DX化)に取り組み下記の目標達成に向けて「高速道路利用・観光・地域連携推進ブラン」を活用して参ります。 ① NEXCO中日本や東日本が提供する速旅や周遊プランの利用促進を行う。 ② 高速道路と長野県内のアクティビティが連携した周遊ブランを造成し長時間の滞在促進を行う。 ③ 申込みから無算までをデジタル化して事業者の業務軽減を促進させる。 目標: ①~④の取組みの結果、速旅や周遊プランの利便性が高まり利用者(観光客)にも事業者や県民にもメリットを創出します。 1年目: モデルプランの造成と販売強化(夏山リフトやゴルフ・スキーと連携したプラン造成)オペレーションの後証と課題抽出システム開発のための検証と課題抽出観光事業者との連携①(スキー場・ゴルフ場など) 2年日: モデルブランの拡張と販売強化(美術館や博物館、日帰り温泉施設などとも連携したプラン造成)オペレーションの改善とマニュアル化システム開発とその検証観光事業者との連携①(美術館・博物館、水族館、動物園、温泉施設、体験施設など) 3年日: モデルブランと宿泊施設が連携した商品造成まり、東流設、体験施設など) 3年日: モデルブランと宿泊施設が連携した商品造成まり、東流設、大阪施設などとも連携のたど、大阪施設など)			

事業活動地域

長野県全域を対象に、NEXCO中日本や東日本が提供する周遊プランと長野県の 長野県のアクティビティの連携を図ります。活動地域は長野県全域になりますが 3年後には提携する観光施設や事業者を3000箇所以上まで拡大し長野県を周遊してもらうこと を目標に、次の3ヶ年計画を立てて対象サービスの拡充を図ります。

◆1年目(令和5年度)の活動範囲と商品造成(目標)

-1、長野県内にある夏山リフトやゴンドラにおいて 業務提携のとれた施設。 対象施設:16箇所

目標提携数:8箇所

1-2、長野県内におけるゴルフ場において 業務提携のとれた施設。

対象施設:48箇所 目標提携数:24箇所

-ションの検証と課題抽出 ※システム開発のための検証と課題抽出

1-3、長野県内におけるスキー場において 業務提携のとれたスキー場。

※デジタル化への取り組みをスタート

対象施設:77箇所 目標提携数:50箇所

◆2年目(令和6年度)の活動範囲と商品造成(目標) (継続) 2−1、長野県内にある夏山リフトやゴンドラにおいて 業務提携のとれた施設。 対

対象施設:16箇所 目標提携数:16箇所

(継続) 2-2、長野県内におけるゴルフ場において 業務提携のとれた施設。

対象施設:48箇所 目標提携数:48箇所

(継続) 2-3、長野県内におけるスキー場において 業務提携のとれたスキー場。

対象施設:77箇所 目標提携数:77箇所

2-3、長野県内にある日帰り温泉施設等において 業務提携のとれた施設。

対象施設:281箇所 目標提携数:140箇所

2-4、長野県内にある美術館・博物館・水族館・動物園・遊園地等 において業務提携のとれた施設。 対象施設:90箇所 目標提携数:45箇所 2-5、長野県内で体験プログラムを提供する事業者において 業務提携のとれた施設。 対象事業者:534箇所

目標提携数:267箇所

※オペレーションの改善とマニュアル化 ※デジタル化に向けたシステム開発とその検証 ※周遊プランの販売と販売強化

2年目 日本アルプスエリア)

1年日

(日本アルプスエリア)

木曾路エリア

◆3年目(令和7年度)の活動範囲と商品造成(目標)

- 3-1、前年度までに造成した周遊プランのデジタル化
- 3-2、前年度までに業務提携の出来ていない施設や事業者へのアプローチ
- 3-3、長野県内におけるお土産店や飲食店等において 業務提携のとれた施設。 対象事業者:6045箇所 目標提携数:2500箇所
- 3-4、長野県内の宿泊施設との連携 造成した周遊プランを活用した宿泊プランの造成)

※周遊プランの販売と販売強化

